番　　号	17-30	県　別	島根	実施団体等	木綿街道の会	代表者	小村　俊美
事 業 名	木綿街道エンジョイウィーク			実施場所	出雲市平田町地内		
事業目的	16 世紀より宍道湖の水運を利用した港湾都市として栄えた平田町の町に残された妻入り土蔵造りの町並みを活用することによって、町を今一度元気にするためのイベントを行い、平田の歴史や綿の歴史を学んだり、ふるさとに思いを馳せたり、さらに木綿街道を実感するための様々な提案を、この 5 日間行う。						
事業概要	①様々な参加(菓子組合どぶろくまんじゅう実演、子供の遊ぶ場演出、境内茶席、木綿街道イメージ PR ビデオ上映、地元企業地場産業商品 PR、見学会他)　②古民家改装　食事･喫茶　紡ぎがオープン　③奄美大島商工会議所青年部の協賛を得て同島の特産品販売　④もとすり歌(酒の仕込みの時に歌う、仕事歌)を披露　⑤平田河下盆踊り保存会が河下盆踊りを練り歩いた						
事業効果	①魅力的な町並みのアピール（期間 5 日間と長めに設定し、歩行者天国は 1 日だけとした。平田写真協会の協賛により撮影会、夜間のライトアップなどを企画。昔ながらの落ち着いた町並みや、地場産業を営む人々を知ってもらえた。） ②地域の誇りと自信の醸成（地元住民もイベント時を中心に、自発的に軒先に花や骨董品などを飾るなどして雰囲気を醸し出した。自ら町並みの良さを再認識して新たに住民レベルからアピールしようという動きも出てきた。） ③経済的効果（歩行者天国には、平田地区以外にも斐川、出雲、松江などから約 40 店舗が出店。周辺地域を中心に市内外から約 5,600 人が木綿街道を訪れ、賑わいを創出した。）						
活動状況							
特記事項	平成 16 年度　夢街道ルネサンス認定「木綿街道」						